

科目ナンバリング		U-LAS23 20002 SO48							
授業科目名 <英訳>	中国語ⅡB [文法・文化理解] C260 Intermediate Chinese B [Grammar, Cross-cultural understanding]				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 上原 尉暢			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>本授業では、中国各地の観光スポットを紹介した短文を中心とする教材を用い、その読解および音読練習を行うとともに、教材中に登場する重要構文を使った作文、聴写(ディクテーション)練習、会話練習などを行う。その目的は、初級で学んだ文法事項に対する理解を一層深めつつ、多様な練習問題に取り組むことで中国語の総合力を強化し、中国語検定3級レベル相当の実力を確実に身につけることにある。</p> <p>同時に、テキストに描かれる話題・内容を通して、現代の中国社会や文化への理解と関心を広げること、もう一つのねらいとする。</p>									
【到達目標】									
<p>1) 中国語で書かれた簡単な文章を、ピンインに頼らず無理なく音読できる程度の読解能力を身につける。</p> <p>2) 中国語の発音およびスピーキング能力を高めるとともに、リスニング力の向上も図る。</p> <p>3) 現代の中国社会および中国文化についての視野を広げ、それらについて中国語で簡単に説明できるようにする。</p>									
【授業計画と内容】									
(授業計画と内容)									
第1回 イントロダクション、前期の復習									
第2回 第7課「皇帝たちの祭壇 天壇」本文音読、訳解練習。文法ポイント(強調して説明する“是~的”/ 伝聞を表す“拠説”/ 方向補語“下来”の拡張用法)の解									
第3回 第7課の内容に関する練習問題、聴写(ディクテーション)練習、作文練習及び会話練習。									
第4回 第8課「ヒマラヤの明珠 ポタラ宮」本文音読、訳解練習。文法ポイント(“每~都”/ 選択複文“或/或者~、或/或者.....”/ 目的語の強調を表す“以~為...”)の解説。									
第5回 第8課の内容に関する練習問題、聴写(ディクテーション)練習、作文練習及び会話練習。									
第6回 第9課「水墨画の桃源郷 源」本文音読、訳解練習。文法ポイント(副詞“就”/ 複文“不僅/不但~、還/而且...”/ 処置を表す“把”構文)の解説。									
第7回 第9課の内容に関する練習問題、聴写(ディクテーション)練習、作文練習及び会話練習。									
第8回 第7~9課の復習を兼ねた中間テスト。長文読解練習。									
第9回 第10課「湘西の真珠 鳳凰古城」本文音読、訳解練習。文法ポイント(語気副詞“並”/ 複文“~,于是.....”/ 強調を表す“怎麼都/也+不”)の解説。									
第10回 第10課の内容に関する練習問題、聴写(ディクテーション)練習、作文練習及び会話練習。									
第11回 第11課「東方の城塞 福建土楼」本文音読、訳解練習。文法ポイント(“早在~就”/ 接続詞“再加上”/ 接続詞“無論”)の解説。									
第12回 第11課の内容に関する練習問題、聴写(ディクテーション)練習、作文練習及び会話練習。									
中国語ⅡB [文法・文化理解] C260(2)へ続く									

中国語ⅡB [文法・文化理解] C260(2)

第13回 第12課「大地の芸術 元陽棚田」本文音読、訳解練習。文法ポイント（ 接続詞“ 則 ” / 副詞“ 僅 ” / 数量詞の重ね型 ）の解説。

第14回 第12課の内容に関する練習問題、聴写（ディクテーション）練習、作文練習及び会話練習。

今セメスターの全体的まとめ

《期末テスト》

第15回 フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

・原則として中間テスト30%、定期テスト60%、平常点（小テストや暗誦課題）10%で評価する。詳細は授業中に説明する。

・試験については、教科書本文や授業内で扱った練習問題をアレンジしたものを出题する予定である。

[教科書]

単艾 二;編著 『游中国 一度は行ってみたい絶景12選』（朝日出版社,2025）ISBN:978-4-255-45415-3

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

1)テキストの課文にはピンインが付いており、音声教材も備わっているので、普段から中国語を音読する練習をしておくこと。

2)授業を効率的に進めるために、十分な予習・復習をした上で授業に臨むこと。

3)その他中国語全般の学習方法については、授業中に適宜紹介する。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]